

HONDA

2023年度 第2 四半期

2023年4月1日▶2023年9月30日

株主通信



株主の皆さまへ

株主の皆さまには、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

Hondaは今年、1948年9月24日の創立から75年目の節目を迎えました。創業時の従業員はわずか34名、それが今や、世界で約20万人の仲間が集い、毎年約3,000万人のお客さまへ商品やサービスをお届けするまでに成長を遂げることができました。これはひとえに、これまで私たちHondaを支えてくださった株主の皆さまをはじめ、お客さま、お取引先さま、地域社会の皆さま、諸先輩、そして、従業員とご家族、あらゆる方々のお陰であると、改めて心から感謝申し上げたいと思います。

2023年度第2四半期累計の連結経営成績は、品質関連費用の影響はあったものの、販売台数の増加に加え、商品価値向上に見合う値付けなどにより、営業利益は前年同期にくらべ2,431億円増益の6,965億円となりました。また、親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期にくらべ2,777億円増益の6,163億円となりました。

2023年度の連結業績見通しは、中国やアジアなどにおける厳しい市場環境や、上期に発生した品質関連費用の増加はあるものの、収益体質のさらなる強化、為替影響を反映し、営業利益は前回見通し^{*1}から2,000億円増益の1兆2,000億円に上方修正しました。また、親会社の所有者に帰属する当期利益は、前回見通しから1,300億円増益の9,300億円としました。

2023年度の中間配当金は1株当たり87円^{*2}、年間配当金は、株式分割前基準で前回見通し150円から24円増配の1株当たり174円としました。

Hondaは、モビリティメーカーとして、さまざまな価値をお客さまや社会に提供し続けてきました。その道のりを振り返ってみると、創業以来、「夢」を原動力に、誰もが「無理ではないか」と思うようなことに果敢にチャレンジし、成長してきた会社、それがHondaであると言えるでしょう。

先日のJAPAN MOBILITY SHOWでは、Hondaが夢の力で形にしたモビリティや、夢見る未来のモビリティを展示しました。移動時間を自由に使い、時間の制約から解放してくれる自動運転車両「クルーズ・オリジン」、長距離移動のハードルを下げ、空間の制約から解放してくれる空のモビリティ「Honda eVTOL」「Honda Jet」、遠く離れていても遠隔操縦で活躍できる「Honda アバターロボット」、移動が困難な方でも重心移動だけで移動ができる「UNI-ONE」など、Hondaの夢を形にしたモビリティは、人を「時間や空間といったさまざまな制約から解放」し、「人の能力と可能性を拡張」していくものです。これは、創業以来、Hondaが提供してきたモビリティの本質的な価値であり、今後も提供し続けていきたい価値です。夢の力で生み出したさまざまなモビリティが、人を動かし、人の心を動かし、たくさんの人の夢の実現を後押しできるよう、今後もチャレンジを続けてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2023年12月

取締役
代表執行役社長

三部 敏宏



目次

株主の皆さまへ 01

新製品&Topics 03

2023年度 第2四半期
連結業績ハイライト 05

事業の種類別
セグメントの状況 07

要約四半期
連結財務諸表の概要 08

株主さまへの
お知らせ 09

会社概要
／株式の状況 12

^{*1} 2023年8月9日公表 ^{*2} 当社は2023年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っています。2023年9月30日を基準日とする2024年3月期の中間配当(第2四半期末)については、分割前の株式数が基準となっています。

■ 新製品 & Topics

4月14日 Hondaとヤマト運輸 新型軽商用EVの集配業務における 実用性の検証を2023年6月から開始

新型軽商用EV、N-VAN e:のテスト車両を用いた実証実験を6月より実施し、集配業務におけるEVの実用性や車両性能を検証。さらに11月から開始した交換式バッテリー型の軽EVの実証実験では、再生可能エネルギー由来電力を活用し、エネルギーマネジメントの実現に貢献します。Hondaは、日本においては生活に身近な軽自動車からEV普及の取り組みを進めており、来春発売予定のN-VAN e:を皮切りにEV展開を本格スタートさせます。



5月11日 HondaとGSユアサ、 新会社「株式会社Honda・GS Yuasa EV Battery R&D」 設立に関する合併契約を締結

8月より事業を開始した新会社では、グローバルレベルで高い競争力を持つリチウムイオンバッテリーとその製造方法を研究開発するとともに、主要原材料のサプライチェーンや効率的な生産システムを構築することを目指します。両社の強みを最大限に生かし、急速に拡大するバッテリー市場において高いプレゼンスを発揮していきます。

5月24日 FIA* フォーミュラ・ワン世界選手権への 参戦について ～Aston Martin Aramco Cognizant Formula One® Teamへ 2026年からパワーユニットを供給～

F1は2026年以降、100%カーボンニュートラル燃料の使用が義務付けられ、最高出力に占める電気エネルギーの比率が現在の20%弱から50%へと大幅に高められます。このレギュレーション変更はHondaのカーボンニュートラルの方向性に合致することから、新たに参戦を決定しました。ここで得られる技術やノウハウは、量産電動車、さらにはeVTOLなどの新領域モビリティの開発への展開など、さまざまな分野に生かすことができると考えています。



7月27日 北米で自動車メーカー 7社が、EV用 高出力充電網を 構築する合弁会社の設立に合意

北米でのEVの普及加速を目指し、アメリカン・ホンダモーターとBMWグループ、ゼネラルモーターズ、ヒョンデ、キア、メルセデス・ベンツグループ、ステランティス N.V.の7社が合弁会社の設立に合意。2024年夏に米国で最初の充電ステーションを開設し、大都市圏や主要幹線道路沿いから順次充電網を拡大していきます。将来的には米国とカナダで少なくとも3万基の充電器設置を目指します。

8月18日 北米向け新型EV Acura「ZDX」、 「ZDX Type S」を世界初公開 9月29日 北米向け新型EV 「PROLOGUE」を発表

Acuraブランド初のEV、ZDXと、AcuraのSUV史上最も速くパワフルな走行性能を発揮するZDXタイプS。そして、北米でのEV本格展開の先駆けとなるプロローク。ゼネラルモーターズと共同開発したこれらの新型モデルを2024年初頭に発売し、北米における電動化戦略を力強く加速させていきます。



9月21日 「Honda 公式中古車 検索サイト」で中古車の オンライン販売を開始

新たな生活様式の広まりとともに多様化した購買行動に対応するため、従来の検索サイトをリニューアル。全国のHonda Carsで扱うHondaの認定中古車をスマートフォンやパソコンで探し、24時間365日いつでもオンライン上で契約申込みができます*。契約手続き後は、来店することなく自宅への納車も選択でき、また納車後7日間は返品可能。実車を見ずに購入する不安を払拭し、気軽に中古車の購入をご検討いただけます。

*オンライン販売対象車両のみ

4月 14 18 5月 11 19 24 6月 7月 26 27 8月 18 9月 21 26 29

4月18日 2023年上海モーターショーでe:Nシリーズ 第2弾「e:NP2 Prototype・e:NS2 Prototype」と 第3弾「e:N SUV 序」を世界初公開

既存モデルの枠にはまらない新たな価値を持ったEVを目指した第2弾と、SUVらしいワイルドさと近未来的な知性を兼ね備え、e:Nシリーズ新世代の幕開けを表す「序」を名前に冠した第3弾を世界初公開。2024年発売予定のこれらのモデルによってシリーズを拡充し、中国市場における「2035年までにEVの販売比率100%」の達成を目指していきます。



5月19日 原付一種の電動二輪 パーソナルコミューター「EM1 e:」を発売

Honda国内二輪ラインアップ初の一般向け電動二輪車を8月に発売。動力源には持ち運びしやすく自宅でも充電できる交換式バッテリー「Honda Mobile Power Pack e:」を使用し、後輪にインホイールモーターを採用。一充電あたりの走行距離53km*を実現しました。欧州、インドネシアでも、2023年度中の発売を予定しています。



*30km/9定地走行テスト値

7月26日 小型船舶向け電動推進機プロトタイプ の実証実験を8月より島根県松江市にて開始

環境省選定の脱炭素先行地域として「カーボンニュートラル観光」を掲げる松江市で、遊覧船による実証実験を進めています。4kWの小型電動モーターを採用した推進機プロトタイプを実際の運行で使用しながら、バッテリー性能、加速力、制動力などを検証。10月下旬には市民対象の乗船体験会を開催しました。Hondaは、水上のカーボンニュートラルにも積極的に取り組んでいきます。

水上のカーボン
ニュートラルに挑む
プロジェクトストーリーは
こちら



9月26日 「JAPAN MOBILITY SHOW 2023」Hondaブース出展概要について ～Hondaの夢をかたちにしたモビリティを紹介～

10月28日～11月5日の期間中、「東京モーターショー」から「JAPAN MOBILITY SHOW」への進化を踏まえ、Hondaの考える多様なモビリティの現在、そして未来を展示しました。時間や空間、限りある資源の制約からの「解放」を体現するモビリティとして、自動運転車両グループ・オリジン、使用済みアクリル樹脂を再利用したコンセプトモデルSUSTAINA-C Conceptなどを紹介するとともに、Honda アバターロボットやUNI-ONE、協調人工知能を搭載した自動走行マイクロモビリティ Honda CI-MEVなど、人の能力と可能性、生活圏の「拡張」を体現するモビリティも幅広く展示。Hondaの夢をかたちにしたモビリティを起点に人々の夢が多様に満ちて広がっていく、そんな未来を目指すHondaの想いを表現し、多くのお客さまに体感していただきました。



最新の情報はこちらをご覧ください。

ニュースリリース
<https://global.honda.jp/pressroom/>



トピックス
<https://global.honda.jp/topics/>



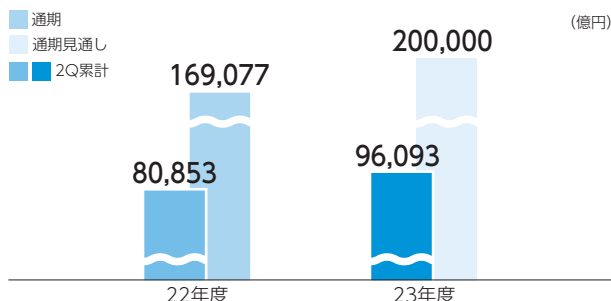
2023年度 第2四半期 連結業績ハイライト

当第2四半期連結累計期間(2023年4月1日から2023年9月30日までの6ヵ月間)／当連結会計年度(2023年4月1日から2024年3月31日までの12ヵ月間)の連結業績の見直し

売上収益

四輪事業における増加や為替換算による増加影響などにより増収

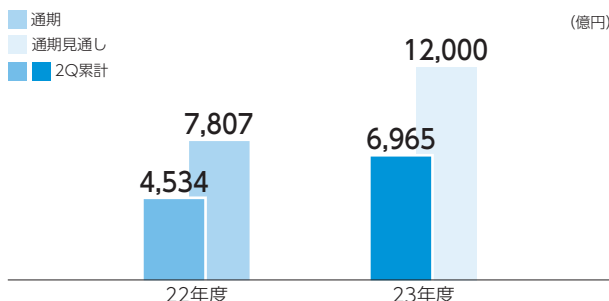
9兆6,093億円 前年同期比 +18.9%



営業利益

販売台数の増加に加え、商品価値向上に見合う値付けなどにより増益

6,965億円 前年同期比 +53.6%



決算ポイント

■ 当第2四半期連結累計期間(2023年4月1日から2023年9月30日までの6ヵ月間)

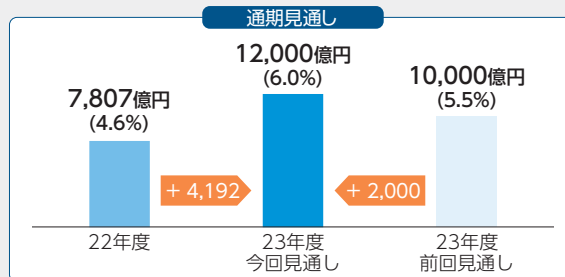
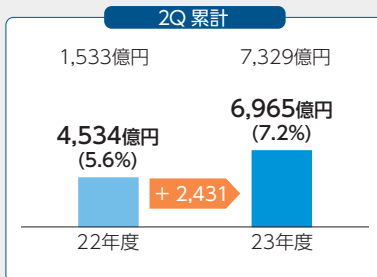
- 高収益の二輪事業に加え、北米を中心に生産台数を回復させ、競争力の高い商品をお客さまにお届けすることで、四輪事業の収益性も大きく改善し、**営業利益 6,965億円・営業利益率7.2%**

■ 連結業績の見直し

- 中国やアジアなどにおける厳しい市場環境はあるものの、収益体質の更なる強化や為替影響を反映し、**対前回見直し^{*1} 売上収益・営業利益・当期利益 上方修正**

フリーキャッシュ・フロー
(金融事業を除く事業会社)

営業利益
(営業利益率)



■ 株主還元

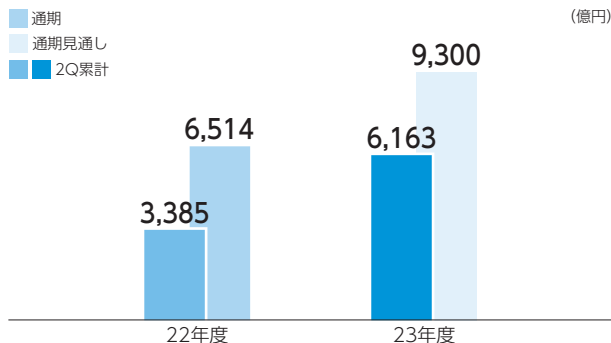
- 年間配当金 150円 ⇒ 174円(予定)^{*2}
- 自己株式取得の進捗状況 2023年5月11日決議2,000億円に対し約1,635億円取得済み(2023年10月31日時点)

※1 前回見直し: 2023年8月9日公表

※2 合計の1株当たり配当予想については、分割前の株式数が基準となっています。

親会社の所有者に帰属する四半期(当期)利益

6,163 億円 前年同期比 +82.1%



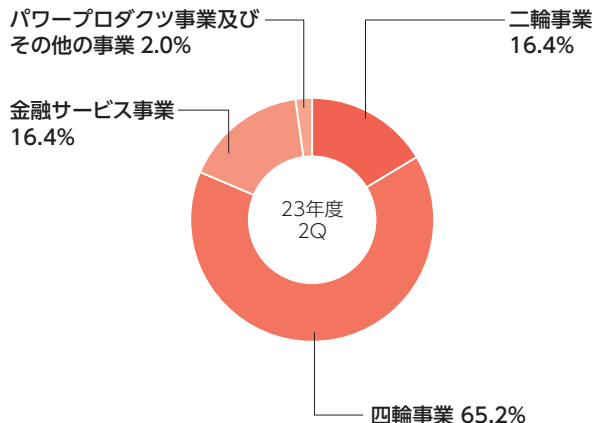
1株当たり 配当金(円) (分割前換算)	23年度 前回予想	23年度 今回予想	前回予想 からの 増減額
中間配当金	75	87 ^{*1}	+ 12
期末配当金	25 (75)	29 (87)	+ 4 (+ 12)
年間配当金	— (150)	— ^{*2} (174)	— (+ 24)

※1 当社は2023年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っています。

2023年9月30日を基準日とする2024年3月期の中間配当(第2四半期末)については、分割前の株式数が基準となっています。

※2 年間の1株当たり配当予想につきましては、株式分割の実施により単純比較が出来ないため、表示しておりませんが、株式分割前基準では前回予想に対して24円の増配となっています。

事業別売上収益構成



※ 外部顧客への事業別の売上収益構成比を表示しています。

※ 当第2四半期の平均為替レートは1米ドル=145円(前年同期138円)です。

※ 業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。

※ 見通しの為替レートは、通期平均で1米ドル=140円を前提としています。

重要な後発事象

当社は、2023年8月9日開催の取締役会において、株式分割、ADR(米国預託証券)の原株との交換比率変更および分割に伴う自己株式取得に係る事項の一部変更について決議しました。当該決議に基づき、2023年10月1日付で、株式分割およびADR(米国預託証券)の原株との交換比率変更を行いました。詳しくは「2023年度第2四半期連結決算報告書」P12-13をご参照ください。

決算関連資料等は、

当社ウェブサイトにてご覧いただけます。



<https://global.honda.jp/investors/library.html>

QRコードはこちら➡



事業の種類別セグメントの状況

■ 二輪事業

売上収益 1兆5,725 億円 前年同期比 +11.3%	営業利益 2,533 億円 前年同期比 +12.7%	Hondaグループ販売台数 第2四半期累計実績 926.6 万台 (前年同期比 +0.7%) ●主に欧州での増加により、前年同期を上回る 2023年度見通し 1,880 万台 (前年比 +0.2%) ●主にアジアでの減少を反映し、前回見通しを38万台下方修正
---	---	--

■ 四輪事業

売上収益 6兆2,622 億円 前年同期比 +27.3%	営業利益 3,013 億円 前年同期比 +374.1%	Hondaグループ販売台数 第2四半期累計実績 193.4 万台 (前年同期比 +8.3%) ●主に北米での増加により、前年同期を上回る 2023年度見通し 410 万台 (前年比 +11.2%) ●主にアジアでの減少を反映し、前回見通しを25万台下方修正
---	--	---

■ パワープロダクツ事業及びその他の事業

売上収益 1,979 億円 前年同期比 -11.8%	営業利益 48 億円 前年同期比 -60.1%	Hondaグループ販売台数 第2四半期累計実績 182.6 万台 (前年同期比 -37.8%) ●主に北米での減少により、前年同期を下回る 2023年度見通し 385 万台 (前年比 -31.8%) ●主に北米での減少を反映し、前回見通しを90万台下方修正
---	--------------------------------------	---

■ 金融サービス事業

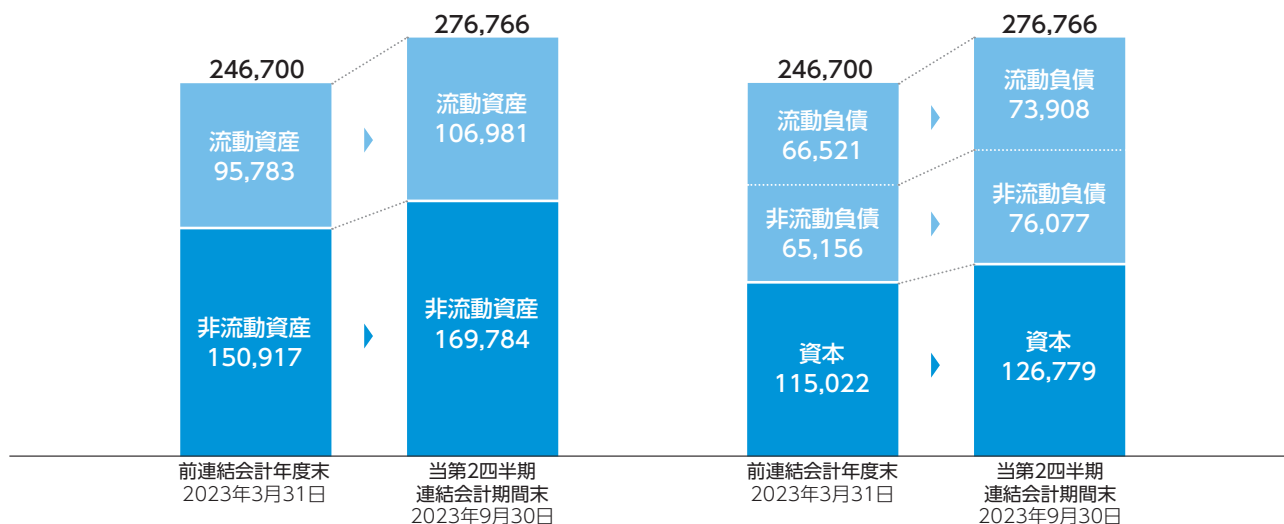
売上収益 1兆5,766 億円 前年同期比 +3.2%	営業利益 1,370 億円 前年同期比 -10.5%
--	---

- ※ 売上収益、営業利益は、当第2四半期連結累計期間(2023年4月1日から9月30日までの6か月間)の外部顧客への売上収益、営業利益について記載しています。
- ※ Hondaグループ販売台数は、当第2四半期連結累計期間(2023年4月1日から9月30日までの6か月間)の実績、および当連結会計年度(2023年4月1日から2024年3月31日までの12か月間)の見通しについて記載しています。
- ※ Hondaグループ販売台数は、当社および連結子会社、ならびに持分法適用会社の販売台数です。定義の詳細は当社の有価証券報告書・四半期報告書に記載のとおりです。

要約四半期連結財務諸表の概要

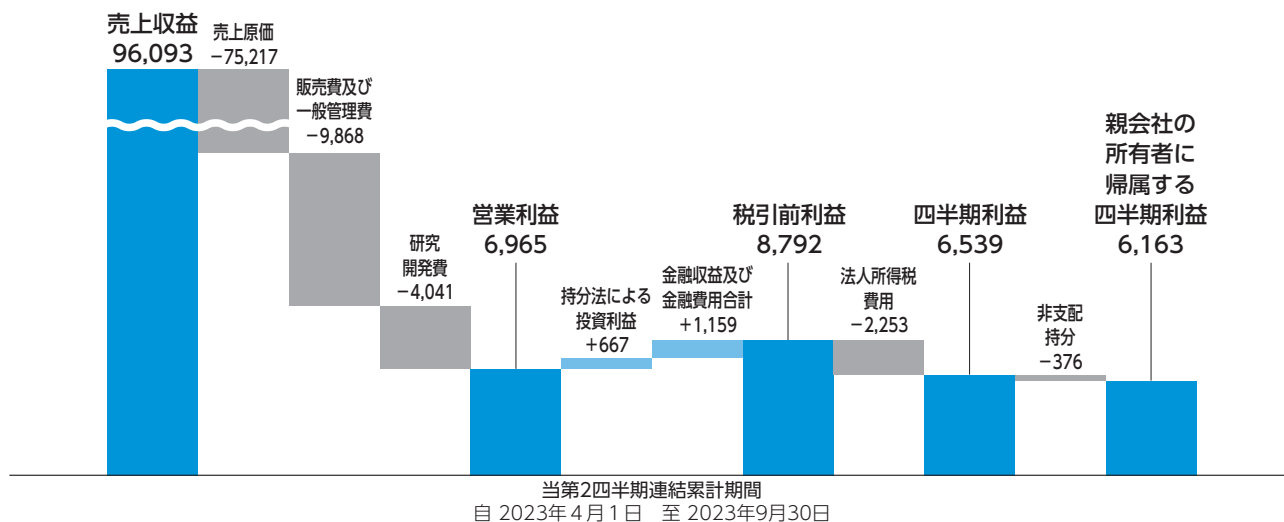
要約四半期連結財政状態計算書

(億円)



要約四半期連結損益計算書

(億円)



株主さまへのお知らせ

株主総会資料の電子提供制度と当社の対応について

制度の概要

会社法改正により、株主総会資料(以下、「招集のご通知」と記載)の電子提供制度が開始され、書面でご送付していた「招集のご通知」は、原則ウェブサイトでのご提供に変更となりました。継続して書面でのお受け取りを希望される場合、書面交付請求*のお手続きが必要となります。一度お手続きをされた株主さまは、改めてのお手続きは不要です。

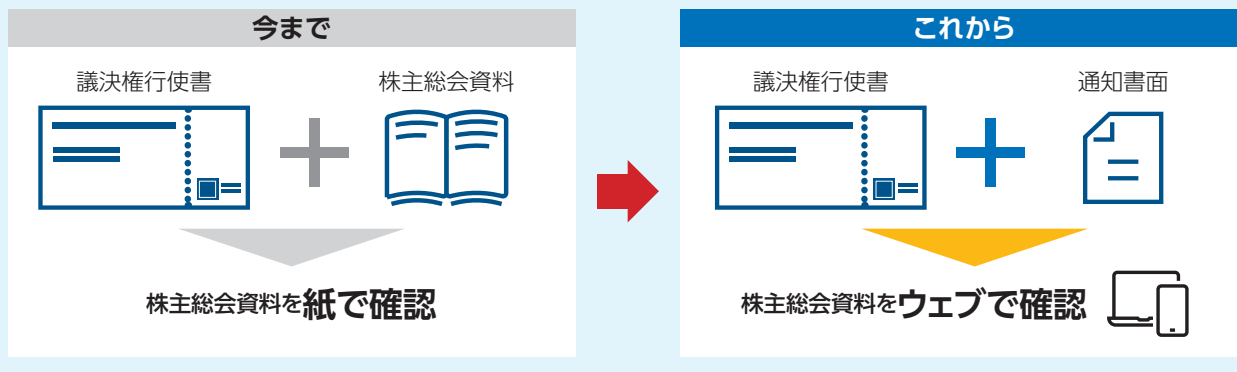
電子提供制度概要

について↓



当社の対応

当社でも来年以降の株主総会から、電子提供制度に即した提供とさせていただきます。



* 書面交付請求とは、インターネットを利用することが困難な株主さまを保護するためのお手続きです。お申し出いただいた株主さまには、「招集のご通知」を書面でお送りするものです。

お手続き(書面交付請求)方法

お取引されている証券会社、または下記のお問い合わせ先までお申し出ください。

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

電子提供制度専用ダイヤル  **0120-696-505**

(受付時間: 土・日・祝日等を除く平日9:00~17:00)

 <https://www.tr.mufg.jp/daikou/denshi.html>

QRコードは
こちら↓



書面交付請求書の
お申込み

QRコードは
こちら↓

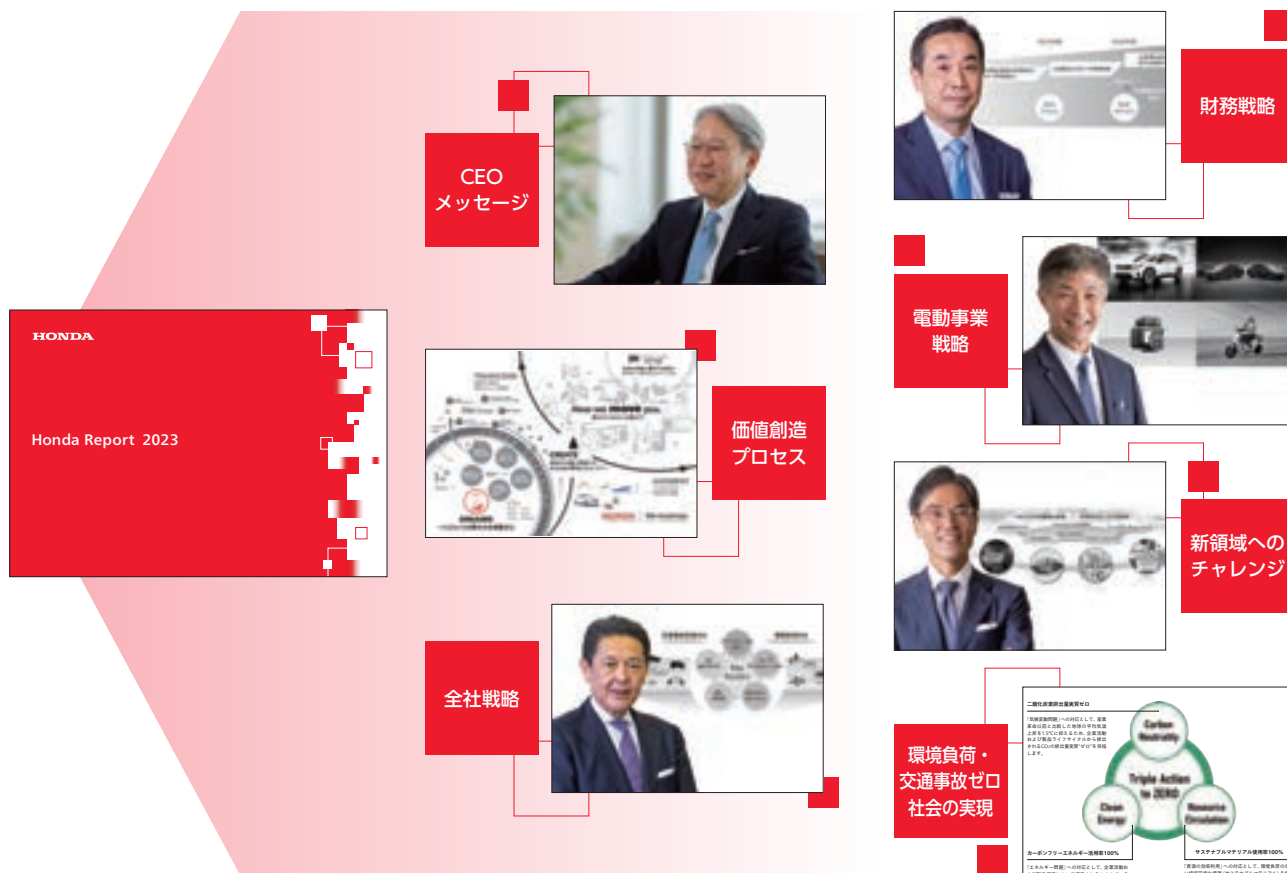


手続き期限

株主総会の基準日までのお申し出が必要です。
2024年6月開催予定の株主総会の場合、2024年3月31日までに手続きいただく必要があります。基準日までに手続きが完了しなかった場合は、翌年の株主総会からの書面交付となります。

統合報告書発行のご案内

2023年9月29日、当社は統合報告書「Honda Report 2023」を発行しました。Hondaの、将来の企業価値向上にむけた中長期的な取り組みをまとめたレポートです。一人ひとりの夢の力を原動力に、Hondaはどのように人を動かし、人の心を動かし、世界中に夢を広げていこうとしているのか。“Hondaの目指す姿・提供価値”がわかる報告書、それがHonda Reportです。株主の皆さまにおかれましても、是非ご一読ください。



統合報告書「Honda Report 2023」全文は、以下のURLからご覧いただけます。アクセスは



<https://global.honda/jp/sustainability/integratedreport/>

こちら→



個人投資家向けIRオンライン説明会配信のご案内

このたび個人投資家の皆さまに、Hondaへのご理解を深めていただく機会として、個人投資家向けIR説明会をオンラインにて配信いたします。

配信開始後は、いつでもご視聴可能ですので、ぜひご覧ください。

ご視聴可能日：2023年12月28日(木)以降(予定)*

※配信状況により、予定日時より遅れる可能性があります。



ご視聴方法

Honda HP “個人投資家の皆さまへ” からご視聴いただけます。
もしくは下記URLへアクセスをお願いいたします。

 <https://global.honda/jp/investors/individuals.html>

アクセスは
こちら➔



WEBアンケートへのご回答のお願い (全19問、所要時間10分)

株主の皆さまのご意向を把握し、今後の企画・運営の参考とさせていただきたく、アンケートにご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

ご回答期限：2023年12月28日(木) 23:59

ご回答いただいた方の中から、
抽選で200名さまに クオカード500円分 を贈呈いたします。

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。(2月中旬発送予定)




アンケートサイトには、右記のQRコードまたは
以下のURLよりお入りください。

 <https://www.net-research.jp/1198085/>

アクセスは
こちら➔



本アンケートに関するお問い合わせは「Honda株主優待係」まで  **0120-335-312**
(通話料無料) (平日9:00~17:00 土・日・祝日等を除く)

※ QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

■ 会社概要 / 株式の状況 (2023年9月30日現在)

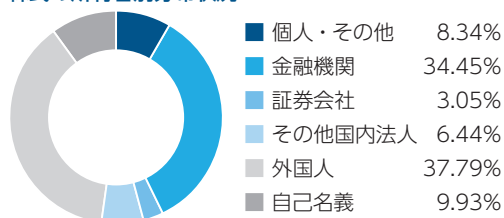
会社概要

社名	本田技研工業株式会社	設立年月日	1948年(昭和23年)9月24日
英文社名	HONDA MOTOR CO., LTD.	資本金	86,067,161,855円
本社	東京都港区南青山二丁目1番1号(〒107-8556)	主な製品	二輪車・四輪車・パワープロダクツ

株式の状況

発行済株式の総数	1,811,428,430 株
株主数	217,250 名

株式の所有者別分布状況



大株主

氏名または名称	持株数(千株)	出資比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	259,920	15.93
モックスレイ・アンド・カンパニー・エルエルシー	105,695	6.48
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	102,592	6.29
明治安田生命保険相互会社	47,785	2.93
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	41,527	2.55
東京海上日動火災保険株式会社	31,915	1.96
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	30,206	1.85
日本生命保険相互会社	28,666	1.76
ジェーピー モルガン チェース バンク 385781	22,746	1.39
株式会社三菱UFJ銀行	20,789	1.27

- (注) 1. 株数は千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 出資比率は、発行済株式の総数から自己株式(179,823千株)を控除して算出しております。
3. モックスレイ・アンド・カンパニー・エルエルシーは、ADR(米国預託証券)の預託機関であるジェーピー モルガン チェース バンクの株式名義人です。

株式事務のご案内

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日

上場証券取引所
国内：東京証券取引所
海外：ニューヨーク証券取引所

単元株式数
100株

株主名簿管理人および
特別口座管理機関
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

郵便物送付先
〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先)
☎ 0120-232-711 (通話料無料)
(受付時間：土・日・祝日等を除く平日9:00～17:00)

公告方法
電子公告により行います。
ただし、事故その他、やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載して行います。
[公告掲載 URL]
<https://global.honda.jp/investors/library/notice.html>

証券コード
7267

住所変更、配当金のお受け取り方法の
指定・変更、単元未満株式の買取・買増

株主さまの口座がある証券会社等にお申し出ください。

*特別口座に株式が記録されている場合は、三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

未払配当金の支払

三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

☎ 0120-232-711 (通話料無料)

HONDA
The Power of Dreams

How we move you.
CREATE ▶ TRANSCEND, AUGMENT

証券コード：7267

株主通信 No.198

本田技研工業株式会社

発行 経理財務統括部 財務部

〒107-8556 東京都港区南青山2-1-1

<https://global.honda/jp/>

表紙：Prologue ～北米でのEV本格展開の幕開け～

UD FONT